全建発第１７～１５３号
平成１７年８月２６日

機関管理者　殿

社団法人　全日本建設技術協会
会 長　　鈴木　道雄

第５０５回建設技術講習会(河川行政の課題、都市・地域整備行政の課題)開催について

謹啓　時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、公団・公社等に勤務する建設関係職員９万名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術者の「技術水準の向上」等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用、品質確保と発注者責任など、多くの重要な課題をかかえております。これらに対処するためには、職員の一層の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の向上が求められております。

このたびの第５０５回建設技術講習会では、河川行政、都市･地域整備行政に共通する課題として、事業評価、住民説明、住民･市民団体等との協働･パートナーシップの進め方、都市型水害等について学び、河川については、豪雨災害対策、総合的な治水対策のあり方、良好な河川環境の保全･復元、河川管理等、都市･地域整備については、都市の再生･再構築、まちづくり、都市景観と緑化、都市内交通問題、都市防災等の最新の施策や技術の状況と情報を得ることを目的としております。本講習は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。　　敬具

全建発第１６～３１０号
平成１７年　１月　４日

（各地方協会長）　殿

社団法人　全日本建設技術協会
研修委員長　　北　橋　建　治
（国土交通省大臣官房技術調査課長）

平成１７年度の講習会参加について（お願い）

本会の建設技術講習会については、お蔭をもちまして毎回多数の参加をいただいており、厚く御礼を申し上げます。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用、品質確保と発注者責任など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、職員の一層の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の向上が求められ、職員研修の果たすべき役割は従来にも増して重要になっていると考えております。

本会では、このような認識にたち、平成１７年度の建設技術講習会及び海外研修計画について、別紙のとおり決定し、実施することとなりました。

本建設技術講習会では、公共事業に携わる方々にとって、業務に直接役立つ講習内容としており、講師には建設行政や建設技術等の各分野において第一線で活躍の方々を迎えています。

以上の趣旨を御理解のうえ、職員研修の場として活用されますよう特段の御配慮をお願い申し上げます。

また、本会講習会に参加できない職員の方々に対して、例えば、参加の職員から講習内容を伝達するような場を設けるなど、多くの職員の技術力等向上のための取り組みについて御配慮いただければ幸いであります。

なお、本会講習会の参加にご理解をいただくため、貴機関管理者あて会長名の文書を同封しましたので、貴職からご説明をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

全建発第１７－１４８号
平成１７年８月26日

地方協会長　殿

社団法人　全日本建設技術協会
会　長　　鈴　木　道　雄

第505回建設技術講習会
（河川行政の課題、都市・地域整備行政の課題）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成17年10月26日（水）～10月28日（金）、福岡県福岡市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、河川行政、都市･地域整備行政に共通する課題として、事業評価、住民説明、住民･市民団体等との協働･パートナーシップの進め方、都市型水害等について学び、河川については、豪雨災害対策、総合的な治水対策のあり方、良好な河川環境の保全･復元、河川管理等、都市･地域整備については、都市の再生･再構築、まちづくり、都市景観と緑化、都市内交通問題、都市防災等の最新の施策や技術の状況と情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は、福岡県(予定)・福岡市(予定)の共催、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴　講　料：正会員・特別会員・賛助会員……　9,800円〔うち昼食代1,600円（2日分)〕
正会員（地元〔福岡県内〕）　……　3,000円〔　　〃　　〕
非会員…… 14,800円〔　　〃　　〕
※正会員（地元）とは、福岡県内に勤務（出先事務所を含む）の正会員
※聴講のみの参加は可能です

③現場研修料：……　6,700円〔昼食代含まない（各自)〕
※現場研修のみの参加はできません

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の（写)〕を添えて、期限までに下記全建事務局までお申し込み下さい。
当日の講習会場でのお支払い並びに追加申し込みは受け付けできません。

⑤申込書送付先：〒107-0052　東京都港区赤坂3－21－13　ランディック藤井ビル7F
（社）全日本建設技術協会 事業課　TEL 03(3585)4546　FAX 03(3586)6640

⑥振込銀行口座：東京三菱銀行赤坂見附支店　普通預金口座No.0311142
口座名義：社団法人　全日本建設技術協会
お振込の際必ず、振込名義の初めに、開催回数の「５０５」をつけ加えて下さい。

⑦申込締切日：**平成17年9月30日（金）必着**　（お申込みが締切日以降に到着したものは受理できない場合があります。）

※取り消し・返金について
申込の取り消しについては、下記のように処理いたします。なお、返金は講習会終了後に、所属協会指定口座へ振り込みます。

【返金方法】

①	平成17年10月14日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成17年10月21日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記②を過ぎてからの取り消し		返金できません

※　テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しします。
※　事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りします。
この講習会は、（社）全国土木施工管理技士会連合会で実施の「継続学習制度(CPDS)」に認定された講習会です。(CPDS登録希望者及び受講認定を必要とする方には、会場で学習履歴登録手続きについてご案内します。)

講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい　http://www.zenken.com/

主催：(社)全日本建設技術協会、福岡県（予定)、福岡市（予定）　後援：国土交通省

第 505 回建設技術講習会（河川行政の課題、都市・地域整備行政の課題）日程

― 河川行政、都市・地域整備行政に共通する課題として、事業評価、住民説明、住民・市民団体等との協働、パートナーシップの進め方、都市型水害等について学び、河川については、豪雨災害対策、総合的な治水対策のあり方、良好な河川環境の保全・復元、河川管理等、都市・地域整備については、都市の再生・再構築、まちづくり、都市景観と緑化、都市内交通問題、都市防災等の最新の施策や技術の状況と情報を得る ―

会場　……　【合 同 ／ 河 川】電気ビル別館 電気ホール
【都市・地域整備】電気ビル本館 ８号会議室（地下2階）
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 2-1-82 TEL092-781-0685

１日目　平成１７年１０月２６日（水）【合同】電気ホール			（敬称略）
10：10 〜 10：30	あいさつ 〃	福岡県知事 福岡市長	麻　生　　渡 山　崎　広太郎
10：30 〜 12：00	環境と国土の価値構造 〜合意形成論〜	東京工業大学大学院社会理工学研究科 価値システム専攻　教授	桑　子　敏　雄
13：00 〜 14：30	公共事業と景観形成	埼玉大学大学院理工学研究科 環境制御工学専攻　教授	窪　田　陽　一
14：40 〜 15：40	【特別講演】 河川環境の保全と復元	九州大学大学院工学研究院 環境都市部門　教授	島　谷　幸　宏
15：50 〜 16：20	【地域における技術苦労話】 これからの整備のあり方について 〜河川の整備を事例として〜	福岡市下水道局河川部長	高　木　　誠
16：20 〜 16：40	【地域事業の紹介】 アイランドシティ整備事業及び「照葉」のまちづくりについて	福岡市港湾局アイランドシティ事業推進部 事業調整課長	伊　藤　祐　磁
16：40 〜 17：00	アイランドシティ中央公園整備事業について	福岡市都市整備局公園緑地部 公園建設第３係長	龍　　靖　則
２日目　１０月２７日（木）【河川部門】電気ホール			（敬称略）
9：50 〜 10：50	豪雨災害対策と水防法改正	国土交通省河川局防災課 防災調整官	田　村　秀　夫
11：00 〜 12：00	良好な河川環境の保全・復元と市民団体との連携	国土交通省河川局河川環境課 課長補佐	藤　巻　浩　之
13：00 〜 14：00	生きものにとって川づくりの良否 〜低水路計画と魚道を中心に〜	淡水魚類研究者	君　塚　芳　輝
14：10 〜 15：10	河川管理の現状と展望	国土交通省河川局治水課 課長補佐	成　田　一　郎
15：10 〜	閉会のあいさつ	福岡県建設技術協会長	江　口　友　弘
	地域の独自調査		
２日目　１０月２７日（木）【都市・地域整備部門】本館８号会議室			（敬称略）
9：50 〜 10：50	景観法の施行について	国土交通省都市・地域整備局都市計画課 企画専門官	藤　吉　信　之
11：00 〜 12：00	交通結節点の整備について	国土交通省都市・地域整備局街路課 企画専門官	今　岡　和　也
13：00 〜 14：00	都市再生とまちづくり交付金	国土交通省都市・地域整備局まちづくり推進課都市総合事業推進室 企画専門官	脇　山　芳　和
14：10 〜 15：10	都市防災について	国土交通省都市・地域整備局まちづくり推進課都市防災対策室 企画専門官	泉　　鉄　男
15：10 〜	閉会のあいさつ	福岡市建設技術協会長	柴　原　　斉
	地域の独自調査		

【現場研修】　３日目　１０月２８日（金）

博多駅筑紫口駐車場(8:20)出発　→　九州大学統合移転事業〔新キャンパス造成工事〕(車窓見学)

→　アイランドシティ等整備事業（船上説明）　→　第 22 回全国都市緑化ふくおかフェア（下車説明）……昼食（各自／会場内）

→　福岡空港（15：30）／ＪＲ博多駅（16：00）着後開催

※上記行程は班分けにより視察順序が変わる場合があります。また道路混雑のため解散時刻が超過することがありますのでご了承ください。
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

ＣＰＤＳ学習プログラム認定講習会

第５０５回建設技術講習会 現場研修事業の概要

１　九州大学統合移転事業〔新キャンパス造成工事〕

…… 福岡市西区元岡・桑原地区、前原市、志摩町

九州大学統合移転事業は、「時代の変化に応じて自律的に変革し、活力を維持し続ける開かれた研究大学の構築」をコンセプトに統合移転を行い、世界レベルでの研究・教育の拠点を創造するために福岡市西区元岡・桑原地区、前原市、志摩町にまたがる新キャンパスを建設する事業です。

本事業では、福岡市土地開発公社が九州大学の依頼のもと、新キャンパス移転用地の用地取得と造成工事を行っている。

九州大学統合移転事業では、移転用地 275ha のうち開発の行われる面積は 176 ha です。

造成工事は、一時期に集中しないよう移転用地をⅠ～Ⅳ工区に分割して、平成 11 年度末から順次着工しており、Ⅰ工区とⅡ工区の一部は平成 15 年度までに終了し、平成 16 年度現在、Ⅲ工区を実施しています。

造成に関しては、自然の地形を生かして起伏のなだらかな形状とし、寡占の流域面積等に影響を与えないよう配慮しています。また、埋蔵文化財や緑地の保全、防災調整池および汚濁処理施設の設置、チップ材の散布、現状植生を活用した法面保護等により、環境保全や災害防止への配慮した施工を行っています。

２　アイランドシティ等整備事業

…… 福岡市東区アイランドシティ

アイランドシティは、博多湾の東部海域に生まれた新しい都市空間で、過去 10 年をかけて、埋め立てが行われている人工の島です。整備面積は、約 400 ヘクタールあり、福岡ドーム 100 個分の広さです。島の端から端まで約 3.1㎞ あり、博多駅から中央区役所までがすっぽりと入ります。市街地からのアクセスは、都市高速道路を使うと、天神から、車で約 12 分。博多駅から、約 20 分。福岡空港や九州自動車道福岡 I.C からは、約 15 分となります。

なお、この整備事業は、国と、福岡市と、博多港開発株式会社で実施しており、総事業費は約 4600 億円になります。

本事業により、「港湾機能の強化」、「新しい産業の集積拠点の形成」、「快適な都市空間の形成」、「東部地域の交通体系の整備」を図ること目的としています。

３　第 22 回全国都市緑化ふくおかフェア

… 福岡市東区アイランドシティ中央公園とその周辺域

福岡市では、無限の魅力を秘めた新しい海の街･花と緑の街としてアイランドシティが誕生しようとしています。

「第 22 回全国都市緑化ふくおかフェア」は、このアイランドシティで開催します。

ふくおかフェアは、積極的な市民参加のもと、どんたく、山笠などの祭りの熱気があふれ、花と緑に接する「喜び」「感動」を感じるとともに、「環境と人に優しい」フェアとしての展開を図ることとしています。

※（参考）全国都市緑化フェア

国土交通省の提唱により、都市緑化意識の高揚、緑化に関する知識・技術の普及等を図るとともに、人々の交流による新たな文化発信を目的として、財団法人都市緑化基金と各地方公共団体の共催のもとに開かれる花と緑の祭典です。昭和 58 年、大阪府で開催された第１回全国都市緑化フェアを皮切りに、毎年各地で開催されています。

第 505 回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿　泊　料　金：宿泊希望者には福岡市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。
宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。
宿 泊 予 約 金：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に**下記旅行会社に直接送金下さい。**
送　　金　　先：西鉄旅行㈱　東京営業本部　Tel 03(3272)2411　Fax 03(3272)3169
銀行口座　東京三菱銀行八重洲通支店　普通預金口座№1015114
〒103-0027　東京都中央区日本橋 3-5-14（都民興業日本橋ビル６F）
お振込の際は、振込者の名義の前に開催回数「505」を付け加えて下さい。
問い合わせ先：西鉄旅行㈱　東京営業本部日本橋支店　Tel 03(3272)2411　Fax 03(3272)3169
「全建担当デスク」迄
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消し・返金について

平成 17 年 10 月 14 日（金）までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
平成 17 年 10 月 21 日（金）までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成 17 年 10 月 25 日（火）・26 日（水）・27 日（木）　（1 泊朝食付、サービス料・消費税含む）

記号	宿舎名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
A	セントラルホテルフクオカ	福岡市中央区渡辺通 4-1-2 TEL：092-712-1212	シングル	50 名	8,500 円
B	福岡東映ホテル	福岡市中央区高砂 1-1-23 TEL：092-524-2121		90 名	7,700 円
	西鉄イン天神	福岡市中央区渡辺通 4-7-1 TEL：092-713-5454		30 名	6,500 円
宿泊斡旋人数合計				170 名	

＊　宿舎が決定次第、西鉄旅行㈱より「宿泊案内」が送付されます。
また、朝食不要とすることもできます。詳細は、「宿泊案内」をご覧下さい。
なお、西鉄イン天神の朝食は、無料軽食（おにぎり、みそ汁、コーヒー等）となっています。

会場・宿舎案内図

第 505 回建設技術講習会の団体航空斡旋便について

航　空　代　金：希望者には団体航空便を下記**のとおり**斡旋いたします。
航空代金は斡旋のこの便に限り有効となります。この金額による別の便への変更は出来ませんのでご注意下さい。

航 空 便 申 込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。
往路又は復路のみの申込みも可能です。希望者は申込書の右端の該当欄にＡ～Ｇを記入願います。
航空運賃は、申込みと同時に金額を西鉄旅行㈱宛に直接（宿泊予約金がある場合は、その合計金額）送金して下さい。
航空便の発着時刻に変更が生じた場合、予約された方に通知いたします。
定員に達し次第締切とさせていただきます。

問い合わせ先：西鉄旅行㈱ 東京営業本部 日本橋支店 Tel 03(3272)2411　「全建担当デスク」

【往路】10 月 25 日（火）講習会前日の便

記号	搭　乗　区　間	便　名	斡旋席数	片道航空代金
A	東　京（羽田）→　福　岡 16:25　18:05	ＪＡＬ１７２９ （日本航空）	50 席	15,500 円
B	名古屋（中部）→　福　岡 16:40　17:55	ＪＡＬ３２１７ （日本航空）	20 席	13,000 円
C	大　坂（伊丹）→　福　岡 15:15　16:25	ＪＡＬ２０５５ （日本航空）	20 席	12,000 円

【復路】10 月 27 日（木）講習会２日目終了後の便

記号	搭　乗　区　間	便　名	斡旋席数	片道航空代金
D	福　岡　→　東　京（羽田） 17:25　19:00	ＡＮＡ２６４ （全日空）	20 席	16,500 円

【復路】10 月 28 日（金）現場研修終了後の便

記号	搭　乗　区　間	便　名	斡旋席数	片道航空代金
E	福　岡　→　東　京（羽田） 17:05　18:40	ＪＡＬ１７２６ （日本航空）	50 席	16,500 円
F	福　岡　→　名古屋（中部） 18:10　19:25	ＪＡＬ３２２４ （日本航空）	20 席	13,000 円
G	福　岡　→　大　坂（伊丹） 19:20　20:25	ＪＡＬ２０５８ （日本航空）	20 席	12,500 円

・上記代金には、航空保険特別料金（1 区間 300 円）、燃料特別付加運賃（1 区間 300 円）、旅客施設使用料（東京（羽田）100 円/名古屋（中部）200 円）、が含まれています。
・団体航空券のため、申込者個人に予め航空券をお送りすることはいたしません。各空港集合場所に集合して下さい。
・集合場所については、申込み締切後、各協会宛てにご通知いたします。
・集合時間は出発時刻の約 40 分前です。その際、搭乗券をお渡しします。
・搭乗日・搭乗区間・便の変更は出来ません。
・お乗り継ぎの場合、30 分以上の乗り継ぎ時間が必要です。
　又、東京（羽田）で航空会社が異なる場合の乗り継ぎの場合は、50 分以上の乗り継ぎ時間が必要です。
・割引率は飛行機に時間帯（便）により異なります。

【団体航空便取消料】片道１席につき下記の取消料がかかります（ご予約の変更はできません）。

記号	搭　乗　区　間	10/8～10/14 に取消した場合	10/15～10/21 に取消した場合	10/22 以降便出発までに取消した場合
A,B,D E,F	東　京（羽田）←→　福　岡 名古屋（中部）←→　福　岡	3,000 円	6,000 円	9,000 円
C,G	大　坂（伊丹）←→　福　岡	2,000 円	4,000 円	6,000 円

・出発後の取り消しの場合、一切払い戻しは出来ません。

2会場となりますので、聴講者別の欄はお間違えのないよう記入願います。

平成17年　月　日

社団法人　全日本建設技術協会　殿

協会名　　印
（特別・賛助会員名）

第505回建設技術講習会〔河川行政の課題、都市・地域整備行政の課題〕申込書

<個人情報の取扱いについて>
申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

	参加者 (フリガナ) 氏名 (参加者が女性の場合は番号に○囲みして下さい)	年齢	勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別 河 正会員	聴講者別 都 正会員	非会員 「河」「都」	昼食不要（×印）	現場研修	宿泊申込 予約日にA・Bを記入して下さい 10月25日	26日	27日	航空便申込 A～Gを記入 往路	復路
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													

※非会員の申込は河川は「河」、都市は「都」と区別して記入願います。

聴講料

正会員・特別会員・賛助会員	名×　9,800円＝	円
〃　（昼食不要）	名×　8,200円＝	円
正会員（地元〔福岡県内〕）	名×　3,000円＝	円
〃　（昼食不要）	名×　1,400円＝	円
※正会員（地元）とは、福岡県内に勤務（出先事務所を含む）がある正会員		
非会員	名×14,800円＝	円
〃　（昼食不要）	名×13,200円＝	円
現場研修料	名×　6,700円＝	円
計		円

↑現場研修の昼食は、各自手配です※

↓全建に振込

宿泊予約金
泊×4,000円　　円

航空便
往路　名×　　円
復路　名×　　円

計　　円

↓西鉄旅行（株）に振込

〔お申込み後の変更・取り消し・追加方法について〕
お電話での受付はいたしません。 本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、FAXにてお送り下さい。 なお、この場合、原本の郵送は不要です。 全建FAX 03－3586－6640 迄

〔聴講時の昼食について〕
昼食時間が限られており、また、会場周辺には充分な昼食施設がありませんので、極力、用意の昼食をご利用下さい。
当日、昼食が不要の場合、×印を記入して下さい。会場においては、昼食の申し込みは受け付けておりませんので、予めご了承下さい。